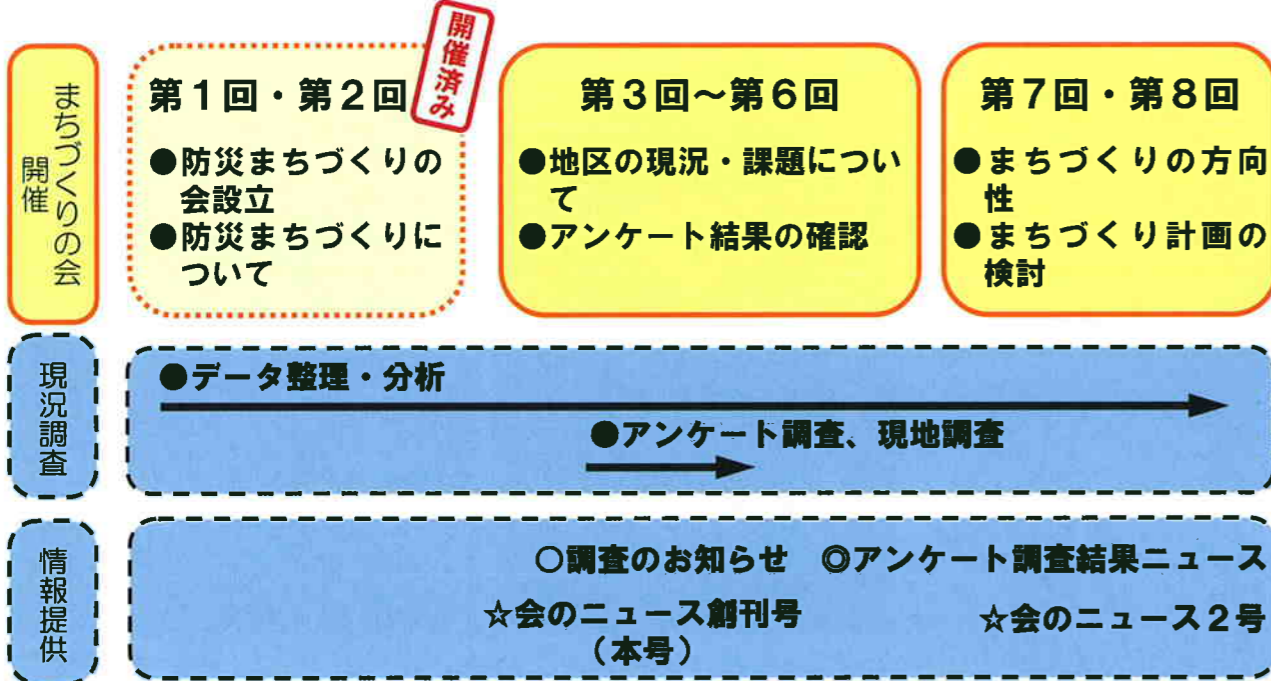


今年度のスケジュール（予定）

まちづくりの会では、第3回以降は、区による羽田地区のデータ整理やアンケート調査結果を踏まえ、当地区の課題整理及び、まちづくりの方向性や計画の検討を行います。



「防災まちづくりの会」会員の紹介（敬称略）

高木滋、鶴見隆義、大槻さかえ（以上羽田大鳥居町会より）
 橋爪克實、鳥居元之、神山忠行、田中宗宏（以上羽田西町町会より）
 石井嘉明、平林敏男、石井満（以上羽田前河原町会より）
 小山幹雄、椋原正則、平林敬一（以上羽田横町町会より）
 横山康夫、小島鷹男、大手希彦（以上羽田稲荷前町会より）
 小柴賢隆、村石忠一、塩澤繁司（以上仲羽田町会より）
 吉澤正夫、江川章雄、櫻井寛、伊東一秋、鳴島順一（以上羽田旭町町会より）
 鳥海國弘、道山哲俊、横田庄治、伊東昭弘（以上羽田仲七町会より）
 沼田秀弘、田辺光男、望月四十四（以上羽田下仲町会より）
 伊東稔、伊東孝一、高橋秀男（以上羽田上東町会より）
 出川義彦、平林博、山崎健二（以上羽田仲東町会より）
 馬場忠夫、村石光男（以上羽田大東町会より）
 安藤充（以上羽田商店街振興組合より）
 石井英彦、唐沢秀起、宇佐美堯司、黒沢春吉（以上穴守ふれあい通りサンサン会より）
 江川美恵子（以上羽田地区民生委員児童委員協議会より）
 鈴木清子（以上青少年対策羽田地区委員会より）



問い合わせ先 まちづくりに関するご意見を随時受け付けます！

事務局：大田区 まちづくり推進部 都市開発課 防災まちづくり担当
 電話：03-5744-1338 FAX：03-5744-1526



発行：羽田の防災まちづくりの会

平成23年8月

創刊号

羽田の防災まちづくり ニュース

創刊号の発行にあたって

「羽田の防災まちづくりの会」では、羽田のまちづくり区域（下図参照）にお住まいの方を対象に、当ニュースを配布し、①羽田の防災まちづくりの会の活動状況や②大田区などから提供された羽田の防災まちづくりに関する情報を周知していきます。

「防災まちづくりの会」 5月よりスタート！



第2回防災まちづくりの会の様子

昨年度より羽田1～6丁目地区で防災まちづくりの勉強会を開催し、防災まちづくりを推進するための会の発足に向けた検討を進めてまいりました。

去る5月23日（月）に、第1回羽田の防災まちづくりの会を開催し、関係する町会などの役員31名の出席を得て、会の設立が確認されました。続く6月24日（金）には第2回（出席者30名）を開催し、東日本大震災による被災状況や阪神淡路大震災後の復興まちづくりについて講話を聞き、活発な意見交換がされました。

防災まちづくりの対象区域（羽田1～6丁目となります）

対象区域とは以下を指します

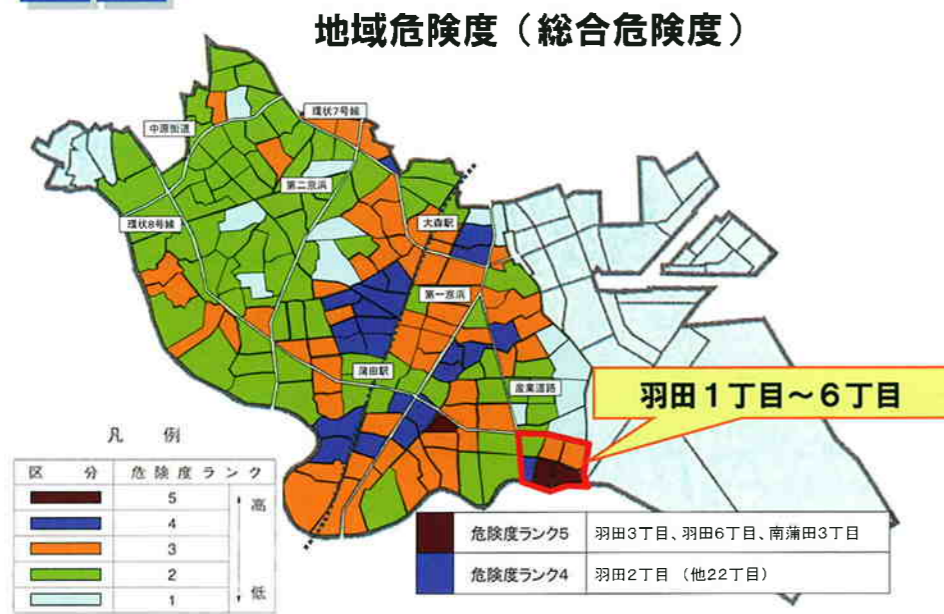
- ニュースの配布区域
- アンケート調査の配布区域
- 現況調査の実施区域
- まちづくりに関する事業の導入を検討する区域

■ 防災まちづくりの対象区域



羽田の課題

区内でも危険度が高い地区です



※地震に関する地域危険度測定調査報告書(第6回)平成20年2月東京都作成による

区内でも地域危険度が高い地区であり、防災面を強化する必要があります。

羽田の特徴

地域の結束力が高い地区です

その1：町会加入率が高い

羽田1丁目～6丁目の町会加入率は、77.2%と高いです。今となつては珍しい、隣近所付き合いの濃い「下町」気質があります。



その2：防災意識が高い

大田区初の発災対応型総合防災訓練を実施するなど、防災意識が高いこともあり、火災の件数は少ないです。



その3：伝統が継承されている

毎年5月に海上安全と大漁を祈願する水神祭が海上で行われます。

また、毎年7月には地域が熱く燃える「羽田まつり」があり、地区内外から勇壮な神輿が舞うのを見ようと大勢の見物客が集まります。



羽田の課題

耐火性の低い建物が多い地区です



木造や防火造といった火災時に燃え広がりやすい建物が多く、また、震災による倒壊の可能性も高いです。

羽田の課題

狭い道路が多い地区です



緊急車両が通行できない狭い道路や、行き止まり道路があり、被災時の避難が困難になる可能性が高いです。

協働による防災まちづくりを一緒に進めていきましょう

羽田地区のまちの課題の解決などのためには、防災まちづくりの会や住民と区の協働によるまちづくりが必要となります。

